

農業委員会だより

◆農業や農業委員会に関することは地域の農業委員または農地利用最適化推進委員、農業委員会事務局へ気軽に相談ください。

問い合わせ 北上市農業委員会事務局(本庁舎3階) ☎72-82246、72-82247

鬼つゾブく北上おしごとパークく2022 「鬼つズマルシエ」を出店

9月11日にさくらホールで開催された小学生向けの職業体験イベント「鬼つゾブく北上おしごとパークく2022」にて、当農業委員会は、北上市産の新鮮な野菜・果物・米の販売体験を行うブース「鬼つズマルシエ」を出店しました。同イベントは新型コロナウイルスの感染対策を行った上で3年ぶりに開催され、当市と西和賀町の小学4く6年生約160人がさまざまな職業を体験しました。



野菜などの袋詰め
に挑戦してもらいました

「鬼つズマルシエ」に参加した小学生19人には、どうすれば商品が売れるかを自分たちで考えながら、野菜などの袋詰めと商品テープ貼り、商品のPRとなるPOP作成や陳列などの作業をしてもらいました。

販売準備ができたなら接客開始です。最初はぎこちなかったものの、段々と「いらっしやいませ」「ありがとうございます」接客してくれました。お客様は同イベントに参加した小学生で、家族へのお土産に商品を購入していききました。エコバックを取り出し「袋は要りません」とエコに協力する子もおり、対応した私も嬉しくなりました。子どもたちの頑張りのおかげで用意した商品は完売し、みんなで喜びハイタッチ。どの子からも「楽しかった」「来年も参加したい」とうれしい感想をいただきました。今回の体験を通して、次世代を担う子どもたちは生産者の作った野菜などに触れ、生きるための食の大切さを学んでくれたと思います。私も子どもたちから笑顔と元気をもらいました。

(農業委員 金田 康子)

食育・食農体験活動で 二子さといもの収穫作業体験

当農業委員会が行う食育・食農体験活動として、10月22日に「二子さといもの収穫作業体験」を実施しました。当日は江釣子6区自治公民館に小学生親子8家族22人が集合し、講師を務める農業委員の菊池光浩さんと妻のユリ子さんと共に、秋晴れの下、収穫に挑戦しました。

初めに菊池委員から、盛岡市津志田、一関市川崎町、北上市二子町が岩手県の里芋の三大産地であること、約40年前の土質調査で二子町以外に飯豊、更木、江釣子地区などが二子さといもの栽培適地と判明したこと、現在はGI(地理的表示)登録



大小さまざまな里芋が
収穫できました

録された団体員などのみ「二子さといも」と表示して販売できることなど、二子さといもに関する貴重なお話を伺いました。

その後、講師の二人から作業手順を教わり、参加者は収穫に取り掛かりました。自分たちの背丈以上の茎を鎌で刈取り、株元にスコップを差し込んで掘り起こします。土をかき分け、株を力いっぱい引つ張る子や大きな葉にはしゃぐ子もおり、作業は終始にぎやか。20個以上の子芋が付いた株もあり、予想以上の収穫に参加者は笑顔で「良い思い出になった」と話しました。さらに機械での掘り起こし作業や株から子芋を外す作業を見学し、終了後子どもたちは「早くいもの汁を食べたい」「一日頑張ったので腰が痛い」と、農作業の大変さや楽しさを感じていました。

今回の体験を通じて農業を身近に感じ、将来農業に興味を持つ子が一人でも多く育てばと思います。また、今回畑を提供していただいた菊池委員夫妻には大変お世話になりました。ありがとうございました。

(農業委員 藤枝 裕樹)

きたかみ農家 紹介します

とみお
及川 富生さん

(44歳・二子町)

神楽と農業の両立を



市内で唯一の葉たばこ農家の富生さんは、昨年、長年勤めた電気工事会社を退職し、父の和生さん(71歳)から経営移譲を受け、現在は経営主として妻、両親と共に

に葉たばこ約150坪、水稻約45坪、里芋約10坪の栽培・生産に奮闘しています。「葉たばこは収入が割と安定しているので営農計画を立てやすく、手応えがあります」とのこと。農業の魅力について「四季を肌で感じながら自然の中で働くのが好きで、何より自分に合っています」と清々しい表情で語りました。また、二子町農業振興部会のメンバーとして、特産品「二子さといも」の宣伝事業の推進、廃棄される芋頭の有効活用、遊休農地などの課題について話し合い、地域農業の活性化に取り組んでいます。

趣味は地区の伝統芸能。和生さんが庭元を務める「宿大乘神楽」で、富生さんは師匠として後進を指導する傍ら、次の公演に向けて自身の舞に磨きをかけ、伝統芸能の継承にも意欲を見せています。

今後の目標について「農繁期の雇用確保ができれば徐々に規模拡大したいが、無理せずみんな健康で農作業ができ、趣味の神楽と農業の両立ができれば」と堅実な将来像を描いていました。愛娘の芽生ちゃん(2歳)には「触れ合う時間を大切にしています。日々の成長を毎日感じるのが楽しいです」と終始目を細めほほ笑む富生さんでした。

(農業委員 八重樫 重徳)

「令和5年度北上市農林業 施策に関する意見書」を提出

10月4日に「令和5年度北上市農林業施策に関する意見書」を市長へ提出しました。この意見書は、農業委員、農地利用最適化推進委員が日常の活動の中で把握した地域農業者の声を取りまとめたものです。来年度の農林業施策に反映させるため、9月28日に開催された第210回農業委員会総会で内容を決定しました。意見書の内容は次のとおりです。

- ◆農業所得の向上策
- ◆農業と地域の維持対策

他2項目

耕作証明書などの交付

農業用軽油免税交付申請に必要な耕作証明書は農業委員会事務局で交付しています。耕作者本人(同居家族含む)以外の人が申請する場合は委任状(代理人氏名、住所、委任内容の記載、委任者の署名押印があるもの)が必要です。また、耕作(農作業受委託)証明書の交付申請には農作業受委託契約書を持参してください。なお、証明書作成には時間がかかりますので期日に余裕を持って申請してください。

農地の権利移転・利用権設定などの審議内容

	上段 審議件数(単位:件) 下段 面積(単位:m ²)		
	9月	10月	11月
農地法3条	1	1	2
	27,856	403	3,153
農地法4条	3	1	0
	2,682	741	0
農地法5条	8	13	14
	5,172	8,574	22,709
農地法 適用外証明	4	5	4
	383	4,446	361
農用地利用 集積計画	3	4	22
	8,748	23,126	244,700

- ◎農地法3条…農地の所有権、賃借権などの権利を設定または移転する場合
- ◎農地法4条…自己所有農地を転用する場合
- ◎農地法5条…農地の所有権、賃借権などの権利を設定または移転して転用する場合
- ◎農地法適用外証明…農地を20年以上他の目的に使用しており農地の復元が不可能な場合
- ◎農用地利用集積計画…農地の所有権、賃借権などの権利を設定または移転する場合で受け手側が大規模農家の場合